

平成 30 年 8 月 27 日(月) 第 3 校時
授業会場
2 年西組 男子 19 名 女子 19 名 計 38 名
指導教官
授業者

(1) 本時の位置 (全 2 時間扱い中の第 2 時)
前時…「カンジ―はかせの大はつめい①」クイズを通して、漢字の構成について理解する。

(2) 本時の主眼
漢字を合体させることに楽しみを感じている子ども達が、二つの漢字を合わせて「ことば」(熟語)をつくる場面で、身の回りの習った漢字や教科書の漢字を利用し、つくった「ことば」(熟語)を友と発表することを通して、身の回りには熟語がたくさんあることに気づくことができる。

(3) 指導上の留意点
・既習の漢字をつかい、熟語を作ることで今までの学びが次の学習につながっているという実感を子どもたちに持てるような工夫をする。
・身の回りにあるたくさんの熟語の存在に気づくことが出来るように教師が指導する。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入 展開 開 終 末	1、前回の振り返り	・門と日を合体させたら間になったよ。 ・田と力は合わせたら男になったな。 ・習った漢字と漢字を足し算して「ことば」をつくりたいよ。	5	・「前回は何を勉強したかな」 漢字と漢字を組み合わせて漢字をつくったことを生徒が思い出せるような指導をする。 ・次にカンジ―博士は二つの漢字でことばをつくる弓矢を発明したことを伝え、子ども達の関心を高めるよう工夫する。
	二つの漢字を合わせて「ことば」をつくってみよう。			・「スクリーンに映った教科書 P101 の例題を解いてみよう」 「ことば」をつくりだせる漢字の組み合わせとできない組み合わせがあるという事実の共有が出来るように教師が指導する。
	2、漢字と漢字を合わせると「ことば」ができるのだろうか、考えてみよう。	「花」と「火」で「花火」ができるよ。だからできると思うな。 ・「ことば」をつくりだせる漢字の組み合わせとできない組み合わせがあるんじゃないかな。 ・このページの漢字だけでなく今まで習った漢字をつかえばたくさんの「ことば」ができると思う。	10	・「ことば」をつくるための漢字はどこから探してくればいいのかを生徒自身から導き出せるように問いかける。
	身の回りの習った漢字や、教科書を見返してみよう。			
	3、漢字と漢字を設定して熟語を作り出す問題を作成しよう。	・この漢字とこの漢字を組み合わせたなら「ことば」ができる問題ができたよ。 ・この漢字の組み合わせでよいのかな？ ・プリントに書ききれないぐらいたくさん問題がつくれたよ。	20	・つまりいている子がいたらとりあえず二つの漢字からなる熟語を考えてみるよう促す。 ・教科書 P124 に今まで習った漢字がまとめたのっていることを伝える。
	4、つくった問題を発表しよう。	・〇〇さんの問題、「草」と「花」を組み合わせると「草花」という「ことば」ができると思う。 ・私は二つ問題がつくれたよ。発表したいな。	10	・生徒が作った問題をスクリーンに映し、問題を解けるように準備する。 ・既習の漢字をつかい、熟語を作ることで今までの学びが次の学習につながっているという実感を子どもたちがもてる指導をする。
	5、振り返り 今日の授業での発見はなんだろう。	・漢字を二つ組み合わせると「ことば」ができることが改めてわかったよ。 ・今まで習った漢字だけでもたくさんの「ことば」が作り出せることがわかったよ。 ・私たちの身の回りにはたくさんの熟語があることがわかったよ。	5	・身の回りにあるたくさんの熟語の存在に気づくことが出来るように教師が指導する。 評価：身の回りには熟語がたくさんあることに気づいている。 評価方法：発言・ワークシート